

イグ・ノーベル賞 受賞記念講演会 中垣俊之

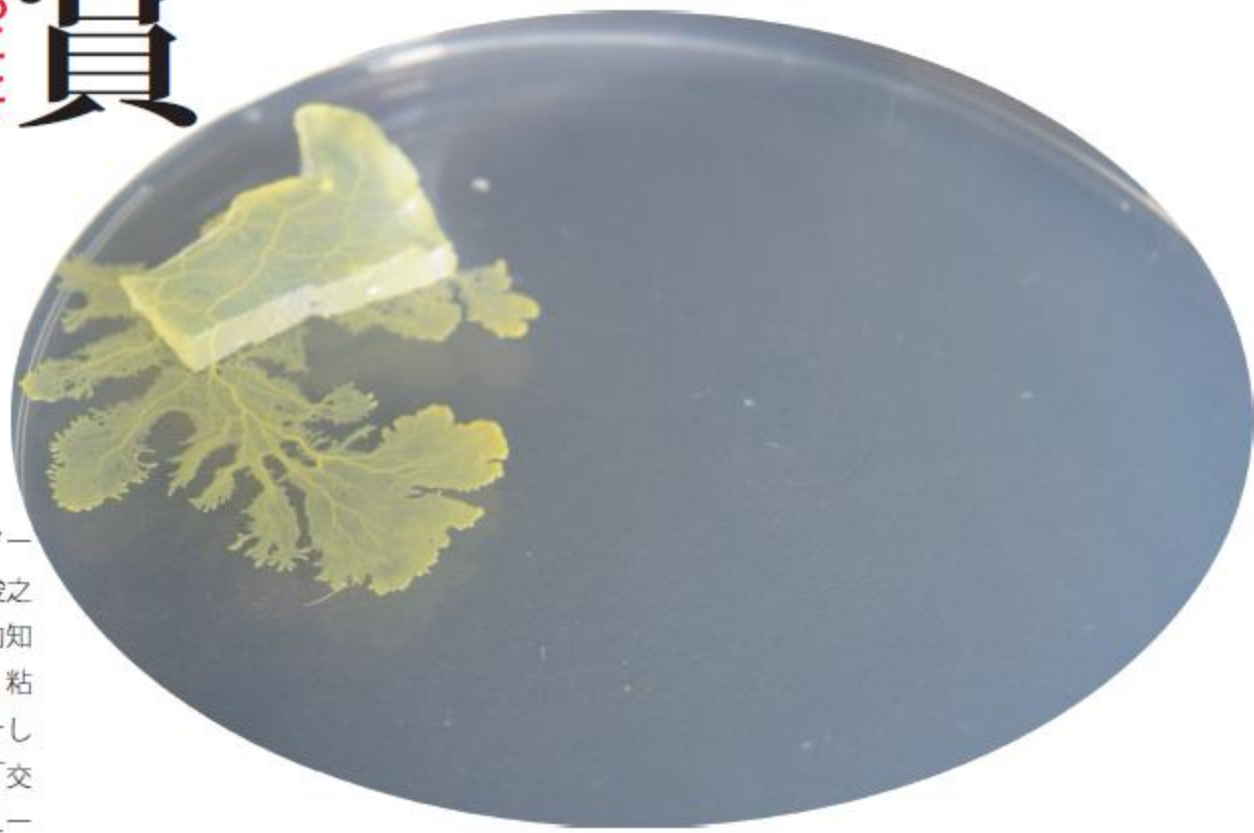
「科学はもっとおもしろい!」——イグ・ノーベル賞が私たちに教えてくれること

第一部 記念講演 (中垣俊之教授)

第二部 クロストーク「単細胞×人工知能、どっちがエライ!?」

—中垣俊之教授×中島秀之・公立ほこだて未来大学学長—

公立ほこだて未来大学教授



「人々を笑わせ、そして考えさせてくれる研究」に与えられる、もう1つのノーベル賞——それがイグ・ノーベル賞です。公立ほこだて未来大学の中垣俊之教授(複雑系知能学科)は、単細胞生物の粘菌が発揮する不思議な集団的知能の特性を発見し、一流科学誌のネイチャーやサイエンスに論文を発表。粘菌の迷路最短経路探索能力の研究で2008年に同賞の「認知科学賞」を、そして2010年、粘菌の鉄道網設計能力の発見で2度目のイグ・ノーベル賞「交通輸送計画賞」を受賞しました。本記念講演会では、科学研究におけるユーモアの精神と豊かな着想の大切さ、また「複雑系知能」や「情報科学」の醍醐味について、多数の市民の皆様と関心を分かち合いたいと思います。

日時◎ **11/22**【月】

平成22年

18:00 開場 / 18:30 開演 - 20:00 終演予定

主催◎公立ほこだて未来大学

会場◎遺愛女子中学・高等学校講堂

北海道函館市杉並町23-11・市電「杉並町」電停下車1分
校内に駐車場はございません。公共交通機関をご利用
ください。(周辺に有料駐車場有り)

定員◎200名 ◎入場無料 当日先着順で受付いたします。

問い合わせ先◎公立ほこだて未来大学事務局企画総務課 | 0138-34-6448

2010.11 A.D.: Tayanagi Emiko + D: Kimura Kenichi